

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/5

五 部首

/4

六 対義語

/5

七 書き取り

/14

合計

/49

合格のめやす

35問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① むかしの人は弓矢をつかった。

② 梅の花がさく。

③ お昼の放送で音楽がながれる。

④ 海でかいがらをひろう。

⑤ にわにきれいな花がさいた。

⑥ 夏まつりでかき氷を食べた。

⑦ 早ね早おきに努める。

⑧ 埼玉県にすんでいる。

⑨ 本を出版する。

⑩ 店にお客さんが来た。

⑪ とりが大きな羽をひろげる。

⑫ 綿でできたふく。

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 書

画

② 低

画

③ 知

画

④ 史

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止
ま
る

① 先生のといに手をあげて答える。

② このもんだいはやさしい。

③ せいこうへみちびく。

④ たまごをいつつかった。

⑤ スープにさとうをすこしくわえる。

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」～「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「ゝを」「ゝに」にあたるもの(れい 読書)

① 防風

--

② 悪夢

--

③ 最適

--

④ 希望

--

⑤ 出欠

--

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)休
やす
む

ハ

(れんが)

①

あつ
い

②

自
ぜん

金

(かねへん)

③

手
かがみ

④

記
ろく

六

反対の意味のことばを、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「けいしき しっぱい ふやす ふちよう
そつぎよう」

①

好調 ⇄

②

入学 ⇄

③

成功 ⇄

④

減らす ⇄

⑤

内容 ⇄

七

—線のことばを、漢字で書きましよう。

① しょうがつにおもちをたべる。

② 町でじけんがおきた。

③ 学校のきそくをまもる。

④ はじめまして。山川花子とうします。

--	--

⑤ きょうはいいてんきだ。

⑥ とびらをひくとあいた。

--	--

⑦ 姉は図書いいんにえらばれた。

⑧ あしたははれになるそうだ。

--	--

⑨ きのぼりをしてあそぶ。

--	--

⑩ ながいなわで大なわとびをする。

--	--

⑪ 黒ばんの字をノートにうつす。

--	--

⑫ 父は会社ではたらくいている。

--	--

⑬ めずらしいこうせきを見つける。

⑭ つねに明るくすす。

--	--

